

〈後援会長あいさつ〉

皆様のご支援を頂き、県議会議員に当選させて頂き、一年が経とうとしています。新人議員として県政の勉強に奮闘中ではありますが、先の県議会で新人議員ではありますが、堂々と質問をしました。後援会としても傍聴に数人が参りましたが、市議の時代より更に大きく見えた后感心していました。考えてみると昨年の春の選挙は、後援会としても初めての県議会議員選挙、手探りの状況で取り組んだ選挙でした。しかし数多くの市民の方々、多くの山口市議会議員の皆様の力強いご支援を頂き、無事、優秀な成績で当選させて頂きまして誠に有難うございました。又、選挙の最中、父親となり現在は人としても十分に充実し、県政に対し真剣に取り組んでおります。

これからも、俵田祐児君に変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。最後に、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

俵田ゆうじ後援会 会長 冨田潤二

「助走」から「飛躍」へ。



昨年4月の山口県議会議員当選からあつという間の一年目でした。皆様から託されたご期待に一回りも二回りも大きな形でお応えできるように、また、山口県、山口市のさらなる発展に寄与できるように全力で取り組む日々を過ごしております。

一心不乱に走り続けてきたこの一年を振り返ると、市政から県政へとステージが変わり、どのようにしたら皆様の思いを最善の形で県政に反映させることができるか、模索の一年、言うなれば「助走」の年でもありました。お約束している「子育てしやすい」「魅力ある中山間」「中核都市として」「安心・安全」「観光と交流」という五つの「地域づくり」に向けて、「種まき」に奔走。昨年の山口県議会12月定例会では一般質問に登壇し、その中の一つ「子育て」について家庭応援優待事業のさらなる充実強化が急務であると指摘し県

の考えをいただきました。これに対し県は、新制度「やまぐち子育て応援パスポート」を創設すると回答。3月定例会で諮られた後に新年度予算として正式に計上されました。さらにもう一つ、地域の「安心・安全」に向けては、皆様のお声に耳を傾け現地へと足を運び、問題解決までの時間が少しでも短縮されるようにいつでも東奔西走する覚悟でおります。こうしたお声を直接お届けいただく機会も増えており、大殿に加えて、山口市全域からさらなるご信頼をいただけるよう、県議としての責任を果たして参ります。直近では、排水問題に地区の皆様とお話をさせていただいております。

「芽吹き」の手応えは感じつつも、皆様と県、国とのパイプ役としてはまだまだこれからが本番です。お約束を果たすべく、県議2年目は「飛躍」の一年となるように邁進していく所存です。いついつまでも皆様の「笑顔の花」が咲き誇るように、地域の発展に尽力します。

常に「全力」をお誓いするとともに、皆様におかれましてはなお一層の叱咤激励を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

俵田祐児